

レジメン番号	0431	レジメン名	R-CP (1日間)
登録診療科	血液内科	使用薬剤	リツキサン/リツキシマブ BS、 エンドキサン、プレドニゾロン
がん腫	マクログロブリン血症	インターバル日数	21日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day1 ( / )	…Day21	Day1 ( / )
リツキサン/リツキシマブ BS 375 mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg	↓	3週間を1コース	↓
エンドキサン(CPA) 1000mg/m <sup>3</sup>	点滴	mg	↓		↓
プレドニゾロン(PSL) 100mg/body	経口	mg	Day1~5		Day1~5

(支持療法)

※1 Day1 経口剤あり

A) パロノセトロン 0.75mg または B) グラニセトロン 1mg	静注	○ を mg	↑	3週間を1コース	↑
---	----	-----------	---	----------	---

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
① リツキサン/リツキシマブ BS	100mg	生食 初回：1mg/mL に希釈 2回目～：1~4mg/ml に希釈	※2 下記参照/輸注ポンプ
	500mg		
② エンドキサン	100mg	KN3号 500mL	90分/点滴
	500mg		
③ パロノセトロン または グラニセトロン	0.75mg	生食 20mL	静注
	1mg		

投与間隔>> ※3 (メインルート/持続) 静注 (90分)

投与順番>> ④ → ① → ③ → ② → 終了

【備考】

※1 リツキサン/リツキシマブ BS 投与前、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 初回投与時、最初の30分は50mg/hで開始し、患者の状態を十分観察しながら、

注入速度を30分毎に50mg/hずつ上げて、最大400mg/hまで速度を上げることができる。

2回目以降の投与速度は下記のいずれかを選択可能 (リツキシマブ BS は(2)を選択不可)

(1)初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/hで開始し、その後30分毎に100mg/hずつ上げて、

最大400mg/hまで上げることができる。(1mg/mlに希釈しているときのみ選択可能)

(2)臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が

5,000/μL未満である場合、90分で投与 (最初の30分：投与量の20%、その後60分：投与量の80%)

※3 ④KN3号 500mL (メインルート)